

CASBEE-建築(新築)2016年版
 (仮称)ビークルエナジージャパン フライン建屋建設工事

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質										3.2
Q1 室内環境							0.31	-	-	3.0
1 音環境						3.3	0.15	-	-	3.3
1.1 室内騒音レベル						3.0	0.40	-	-	
1.2 遮音						3.4	0.40	-	-	
1 開口部遮音性能						3.0	0.60	-	-	
2 界壁遮音性能		Dr=40				4.0	0.40	-	-	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)						-	-	-	-	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)						-	-	-	-	
1.3 吸音		床、天井の二面に吸音材を使用				4.0	0.20	-	-	
2 温熱環境						2.2	0.35	-	-	2.2
2.1 室温制御						3.5	0.50	-	-	
1 室温						3.0	0.38	-	-	
2 外皮性能		断熱性能の高い外皮材料を使用				5.0	0.25	-	-	
3 ゾーン別制御性						3.0	0.38	-	-	
2.2 湿度制御						1.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式						1.0	0.30	-	-	
3 光・視環境						3.8	0.25	-	-	3.8
3.1 屋光利用						3.6	0.30	-	-	
1 屋光率		屋光率: 2.109%				4.0	0.60	-	-	
2 方位別開口						-	-	-	-	
3 屋光利用設備						3.0	0.40	-	-	
3.2 グレア対策						3.0	0.30	-	-	
1 屋光制御						3.0	1.00	-	-	
3.3 照度		設計平均照度は750lx以上				4.0	0.15	-	-	
3.4 照明制御		リモコンにて複数系統での調整が可能				5.0	0.25	-	-	
4 空気質環境						3.1	0.25	-	-	3.1
4.1 発生源対策						3.0	0.50	-	-	
1 化学汚染物質						3.0	1.00	-	-	
4.2 換気						3.3	0.30	-	-	
1 換気量		換気量は30m ³ /h・人以上				4.0	0.33	-	-	
2 自然換気性能						3.0	0.33	-	-	
3 取り入れ外気への配慮						3.0	0.33	-	-	
4.3 運用管理						3.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視						3.0	0.50	-	-	
2 喫煙の制御						3.0	0.50	-	-	
Q2 サービス性能						-	0.30	-	-	3.5
1 機能性						3.6	0.40	-	-	3.6
1.1 機能性・使いやすさ						2.6	0.40	-	-	
1 広さ・収納性						3.0	0.33	-	-	
2 高度情報通信設備対応						2.0	0.33	-	-	
3 バリアフリー計画						3.0	0.33	-	-	
1.2 心理性・快適性						4.0	0.30	-	-	
1 広さ感・景観		天井高: 2.8m				4.0	0.33	-	-	
2 リフレッシュスペース		リフレッシュスペース: 1%以上、自動販売機を設置				5.0	0.33	-	-	
3 内装計画						3.0	0.33	-	-	
1.3 維持管理						4.5	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		維持管理に配慮した設計を行っている				5.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保		清掃や廃棄物スペースを確保しており、維持管理用の機能を確保している				4.0	0.50	-	-	
2 耐用性・信頼性						3.4	0.30	-	-	3.4
2.1 耐震・免震・制震・制振						3.0	0.50	-	-	
1 耐震性(建物のこわれにくさ)						3.0	0.80	-	-	
2 免震・制震・制振性能						3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数						4.2	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数						3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		耐用年数の長い外装仕上げ材を使用				5.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		耐用年数の長い外装仕上げ材を使用				5.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		耐用年数が短くなるダクトは全面的にガルバリウム等を採用				5.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		耐用年数の長い配管材を使用				5.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔						3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性						3.4	0.20	-	-	
1 空調・換気設備		吊配管による地震時の影響低減等の対策がある				5.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備						3.0	0.20	-	-	
3 電気設備		非常用発電機やUPSの設置、電源設備の地下設置回避等				4.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法						3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備						2.0	0.20	-	-	

3 対応性・更新性			3.6	0.30		-	3.6
3.1 空間のゆとり			5.0	0.30		-	
1	階高のゆとり	階高:3.9m以上	5.0	0.60		-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率:0.1未満	5.0	0.40		-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30		-	
3.3 設備の更新性			3.2	0.40		-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20		-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20		-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10		-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10		-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20		-	
6	バックアップスペースの確保	予備機のスペースを確保している	4.0	0.20		-	
Q3 室外環境(敷地内)				0.39		-	3.1
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30		-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮		視点場からの良好な景観形成へ配慮した計画等がある	4.0	0.40		-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30		-	3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50		-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性							3.2
LR1 エネルギー				0.40			2.9
1 建物外皮の熱負荷抑制		断熱性能の高い躯体構成及び建築材を使用	5.0	0.02		-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.12		-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = 0.82	2.9	0.62		-	2.9
4 効率的運用			3.0	0.25		-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00		-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50		-	
4.2	運用管理体制		3.0	0.50		-	
集合住宅の評価							
4.1	モニタリング						
4.2	運用管理体制						
LR2 資源・マテリアル				0.30			3.3
1 水資源保護			3.4	0.20		-	3.4
1.1	節水	自動水栓に加えて節水型便器を採用	4.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60		-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70		-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30		-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.4	0.60		-	3.4
2.1	材料使用量の削減		3.0	0.11		-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.22		-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.22		-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		3.0	0.22		-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		-	-		-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	LGSI法、ユニット部材の採用	5.0	0.22		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.2	0.20		-	3.2
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30		-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.3	0.70		-	
1	消火剤	不活性ガス消火設備を採用	4.0	0.33		-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.33		-	
3	冷媒		3.0	0.33		-	
LR3 敷地外環境				0.30			3.3
1 地球温暖化への配慮		高効率な設備機器の採用によるCO2の削減	3.3	0.33		-	3.3
2 地域環境への配慮			3.5	0.33		-	3.5
2.1 大気汚染防止		燃焼機器の設置は無い	5.0	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25		-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25		-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
3	交通負荷抑制	駐車台数を確保し、車両出入時の混雑を避けた計画	4.0	0.25		-	
4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25		-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33		-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		-	
1	騒音		3.0	0.50		-	
2	振動		3.0	0.50		-	
3	悪臭		-	-		-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40		-	
1	風害の抑制		3.0	0.70		-	
2	砂塵の抑制						
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20		-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	周囲への漏れ光に配慮した屋外照明計画	5.0	0.70		-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-	